

〔第20号記念論考〕

あぶらあうひまなひ

油絵初学 明治十年前後—私の近況報告

青木茂

視覚型と触覚型

歌田真介

台湾戦争図再々考

木下直之

藤島武二研究拾遺

—「天平時代」および「東洋」の表現について

児島薫

一九三〇年代東京の展「不空間と

モダニズム—ギャラリ—「ブリュッケ」について

五十殿利治

藤田嗣治（レオナルド・ラジタ）と日本画

—あるいは、自画像の深層

古田亮

近代画説

明治美術学会

近代画説 20

2011

〔公募論文〕

藤岡作太郎と「古画備考」

—明治期における江戸の書画情報の受容—……………村角紀子

太平洋を渡る石膏像

—ボストン美術館から東京美術学校への輸送記録……………荒木慎也

柴田是真の漆工作品における「素彫」の意義……………高尾曜

鏑木清方と《曲亭馬琴》

第二回文部省美術展覧会の落選画に関する考察……………篠原聡

〔第20号記念論考〕

あぶら糸うひまなひ
油絵初学 明治十年前後—私的近況報告

青木茂 4

視覚型と触覚型

歌田真介 16

台湾戦争図再々考

木下直之 23

藤島武二研究拾遺

兎島薫 44

—「天平時代」および「東洋」の表現について

一九二〇年代東京の展示空間とモダニズム

五十殿利治 56

—ギャラリー「ブリュッケ」について

藤田嗣治(レオナルド・フジタ)と日本画

古田亮 71

—あるいは、自画像の深層

〔公募論文〕

公募論文 審査について……………岩切信郎 84

藤岡作太郎と『古画備考』

—明治期における江戸の書画情報の受容……………村角紀子 86

太平洋を渡る石膏像

—ポストン美術館から東京美術学校への輸送記録……………荒木慎也 106

柴田是真の漆工作品における「素彫」の意義……………高尾曜 124

鏘木清方と《曲亭馬琴》

第一回文部省美術展覧会の落選画に関する一考察……………篠原聰 144

〔資料研究〕

新出の五姓田義松関係資料について——肖像・風景・実像—— 角田拓朗 164

研究発表(要約) Resumes

ルパンカを纏う人たち——大正から昭和初期の芸術家像……………喜寿孝臣 199 / 日本製プロパガンダポスターに関する調査研究について——中野区立歴史民俗資料館所蔵「須藤亮作文庫」を中心として……………田島奈都子 202 / 私立女子美術学校・女子美術学校(九〇〇—九五五)における洋画教育……………山田直子 205 / 『幼学綱要』挿画成立事情考——楓湖芳柳(二世)・芳年との関わりをめぐって……………杉江京子 207 / 高島北海と下関市立美術館……………岡本正康 210 / 狩野芳崖筆、明治十年代の寿老人図について——道釈人物画における雪舟学習の成果と応用……………関根佳織 213 / 黒田清輝筆《昔語り》におけるフランス美術の影響……………植田彩芳子 215

〔講演採録〕チャールズ・ワグマン再考〔明治美術学会において発表〕 ジョン・クラーク 12～35

編集後記

丹尾安典 244

〔明治美術学会 会員業績録 2010年4月1日～2011年3月31日〕